

■日時 令和元年8月15日(木)  
令和元年8月16日(金)

■天候 雨(15日)  
曇り(16日)

大阪府立桃谷高校 対 星槎国際高校・広島・通

■球場 府中市民球場

第2試合 回戦

準々決勝

■試合時間 2時間11分

■備考 8回コールド

■審判 球審:鈴木 塁審:山田 谷川 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8							計	安	失
星槎国際広島	西中国・広島	2	1	0	0	0	0	0	0							3	4	3
桃谷	大阪	3	3	0	2	0	0	0	2x							10	11	0

8月15日 グラウンドコンディション不良のため6回裏打ち切り特別継続試合とする  
8月16日 同球場にて7回表より再開

星槎国際広島

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	2	3	4	4	5	6	7	7	8			
1	一	菅 卓人	2	2	0	0	四球		四球			遊飛				投ゴ				
2	遊	宮 武 篤 矢	3	1	1	1	右3		四球				二ゴ			一ゴ				
3	投	川 后 克 典	4	0	2	1	二ゴ		左2				三邪				左3			
4	捕	西 祥 希	3	0	0	0	四球		三振				遊飛				三ゴ			
5	三	恵 飛 須 公 平	2	0	0	0	四球			三振				三振			四球			
6	中	村 上 智 哉	2	0	0	1	四球			三振				三振						
6	右	森 永 海 渡	1	0	0	0														投ゴ
7	二	野 口 達 矢	3	0	1	0	三振			三ゴ					遊安					
7	左	矢 野 健 介	1	0	0	0														投ゴ
8	左 中	楠 本 健 翔	3	0	0	0	遊ゴ				三ゴ				遊ゴ					
9	右 二	林 本 一 輝	3	0	0	0		三振			三振					三振				
合計			27	3	4	3	残塁:7 併殺:1													
備考																				

■バッテリー

投手
川 后 克 典

捕手
西 祥 希

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
川 后 克 典	7 2/3	39	11	8	5	6

桃谷

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8						
1	捕	山 田 駿 汰	4	4	3	0	死球	中安		左2		三振		右安						
2	二	高 田 海 空	4	2	2	5	右本	死球		右本		遊ゴ		捕ゴ						
3	遊 投	和 田 侑 作	3	1	1	0	中2	二失		死球		四球		三失						
4	中	中 崎 由 剛	4	0	0	0	投ゴ	三振		一ゴ		三振								
5	一	宇 藤 隼	2	0	0	1	右犠	三振		三振				四球						
6	三	仲 村 騰 希	4	0	2	0	投ゴ		右安		左安		投ゴ							
7	投 遊	高 岡 丈	4	1	1	0		左安	一邪		左飛		三振							
8	左	前 島 愛 輝	4	0	0	0		三振	投ゴ		二ゴ			遊ゴ						
9	右	梶 屋 翔 生	4	2	2	0		左安		三ゴ	三振			中安						
合計			33	10	11	6	残塁:6 併殺:0													
備考																				

■バッテリー

投手
高 岡 丈
和 田 侑 作

捕手
山 田 駿 汰

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高 岡 丈	6	26	3	8	6	3
和 田 侑 作	2	8	1	1	1	0

■戦評

降雨のため2時間遅れで始まった府中球場の準々決勝第2試合は昨日の2回戦で主戦山田の好投が光った大阪府立桃谷高校と1・2回戦を共にコールドで制した星槎国際高校・広島・通信制の対戦となった。先攻の星槎国際・広島は初回四球と2番宮武の三塁打で幸先良く1点先攻。その後三つの四球でもう1点追加。その裏桃谷は死球と2番高田の右翼越え2点本塁打ですぐさま同点に追いつき3番和田の二塁打を内野ゴロで三進後5番宇藤の犠飛で逆転に成功。2回表星槎国際・広島は二つの四球と3番川後の適時二塁打で1点返し3-3の同点に追いつく。2回裏桃谷は3本の単打で一死満塁の好機から死球押し出でまず1点。3番和田の内野ゴロを本塁悪送球の間に二人が返りこの回3点を追加する。4回裏桃谷は二塁打の山田を2番高田が初回に続き右翼越え2点本塁打で8-3とリードを広げる。6回裏終了時点で降雨による中断。回復の見込みが立たずサスペンデッドゲームとし翌日同球場で7回表から再開。再開後マウンドに上がった桃谷2番手和田が7回を三人で8回は三塁打と四球の走者を出したものの後続を断ら無失点で切り抜けると8回裏に2本の安打と二つの敵失で2点を追加した桃谷が8回コールド10-3で勝利し2日間に渡る熱戦を制して準決勝に駒を進めた。敗れた星槎国際・広島は降雨中断や継続試合など集中力を保つのが難しい状況で最後まで諦めることなく健闘が光った。